

天皇陛下御即位三十年，誠におめでとうございます

中澤 靖夫

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長



天皇陛下御即位三十年の嘉節^{かせつ}をお迎えになりましたことを、心よりお祝い申し上げます。また御即位三十年奉祝委員会の設立に当たり奉祝委員就任のご指名を頂き、大変栄誉なことと感激致しております。

わが家では、天皇皇后両陛下のお写真や皇室の皆さま方の写真が幼いころから飾ってあり、床の間には天照皇大神の掛け軸が鎮座しておりました。毎朝、父が神棚にご飯とお水をお供えし、お祈りをささげ、祝日には必ず国旗を門に掲げ、国家の繁栄と世界平和をお祈りしていました。その習慣は今も昔と変わることなく、引き継いで実行しています。私の経験の中で皇室の窓が大きく深く開けたのが昭和三十四年四月十日、皇太子明仁親王と正田美智子さまのご成婚パレードでありました。お幸せそうなお二人を家族みんなでテレビを見ながら、拍手をしながらお祝いさせていただいたとき、心に熱く感じるものが湧いてきました。

平成二十三年三月十一日に発災した東日本大震災では、東北地域において多くの住民が亡くなるなど甚大な被害が発生しました。天皇陛下はいち早く東日本大震災によって被災された皆さま方へのビデオ収録を行われるとともに、東京武道館・旧駒西高等学校などに避難された方々を見舞われました。四月に入り天皇皇后両陛下は宮城県南三陸町に入られるとともに、被災者の皆さま方を見舞われました。多くの被災者が、天皇皇后両陛下から生きる勇気と希望と目標を頂いたと話されております。本会は、厚生労働省および福島県の依頼を受け、放射線を被ばくしたのではないかと不安に思っている住民の放射線サーベイ、お亡くなりになった方々の検案前の放射線サーベイ、福島第一原子力発電所5/6号救急医療室支援、放射線被ばく相談など、一年以上にわたり放射線関連のボランティア活動を実施し、秋篠宮殿下妃殿下にご報告させていただきました。

「古事記」「日本書紀」によると、初代天皇である神武天皇が橿原でご即位されたのが紀元前六百六十年二月十一日（建国記念の日）、今から二千六百七十九年前であります。第百二十五代今上天皇が即位されたのが千九百八十九年一月七日、元号法に基づき平成に改元されました。爾来、万世一系の今上天皇は国民生活の安定と向上のために宮中三殿でお祈りされ、全国各地・世界各国を訪問されるとともに被災者の見舞い、国内行事への参加、戦没者の慰霊、国際親善、世界平和の旅を続けてこられました。全身全霊で象徴としての務めを果たされるとともに、国家国民の安寧を祈っていただける今上天皇を頂いている国民にとりましては、この上ない幸せであると感じるものでございます。今上天皇を中心としたわが国の伝統と文化・歴史の中にいる私たちに、大きな勇気と幸せを与えていただいております。

天皇皇后両陛下、今後とも国民を導いていただきますよう心からお願い致しますとともに、心からご即位三十年を奉祝し、皇室の永遠の繁栄をお祈り申し上げます。